

旧高橋家屋敷林は、 「生きた博物館」

お話を伺ったのは…

武蔵野大学工学部
建築デザイン学科 教授
西東京市緑化審議会 会長
いとう やすひこ
伊藤 泰彦さん



保谷駅北口から少し歩くとふと現れる、緑豊かなアプローチ。旧高橋家屋敷林は、かつて農家と屋敷林、畑が織りなしていた「散居村」の面影や暮らしの工夫を今に伝える、私たちのまちの貴重な財産です。

母屋の縁側に腰を下ろすと、通り抜ける涼気の心地よさに驚かされます。

専門家によると、人間が感じる快適さは単なる「気温」ではなく、周囲を囲むものの「表面温度」が大きく影響しているのだそう。夏場は60℃近くまで熱を溜め込むアスファルトに対し、熱を逃がす樹木の葉は気温と同じ程度の表面温度に保たれます。

前庭のケヤキ1本をとっても、夏は茂る葉が木陰を作って涼を呼び、冬は葉を落として温かな陽だまりをもたらす—— 四季の熱環境を調整してきた先人の知恵が息づいています。

ここは単なる緑の多い公園ではありません。

地域の歴史や植生、息づく生き物まで丸ごと五感で学べる「生きた博物館

(フィールドミュージアム)」です。都市で育つ子どもたちにとっても、本物の木漏れ日や風の音に身を置く時間は、何よりの教材となり豊かな感性を育みます。また、「この場所や風の音が好き」と地域に興味を持つことは、まちを知り、自分たちの居場所をつくるきっかけにもなります。そして、都市化のなかで見えにくくなるその「地域らしさ」に触れることこそが、まちへの愛着を育む大切な鍵になります。

かつてこの場所は、家主が敷地を地域へひらき、人々が集い温かな交流を重ねてきた背景を持っています。特別な知識がなくても、「身近にこんな空間があるんだ」と知ることや、「どんなふうに使えるかな」と思い巡らせることが、このかけがえのない財産を未来へ引き継ぐ第一歩になります。

このまちが大切に育んできた豊かな景観と歳月。まずはこの空間に少しでも心を寄せ、私たちが暮らすまちに息づく「宝もの」のような魅力を、ぜひ体感しに来てください。

高木林ゾーン ＊イベント時のみ



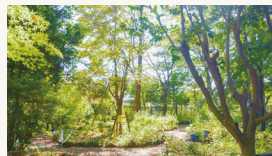
ケヤキやシラカシがそびえる、木漏れ日の豊かな森。

屋敷と前庭ゾーン



歴史ある母屋と蔵がたたずむ、風情あふれる空間。

野草園ゾーン

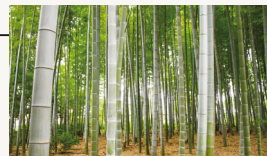


季節のかれんな草花が出迎える、身近な観察エリア。

一般開放ゾーンに加え、一部ゾーン＊はイベント時のみの特別開園です。

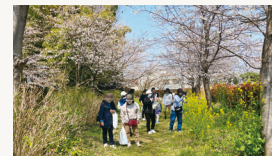


竹林ゾーン ＊イベント時のみ



澄んだ風と竹の葉音が心地よい、静かな竹林エリア。

草地ゾーン ＊イベント時のみ



日当たりが良く、多様な草花や虫たちが集うエリア。



小広場と鑑賞樹ゾーン

サクラやイロハモミジなど季節折々の樹木を眺める場所。地域の文化を伝える「藍」の栽培も行われています。

いつ訪れても心地よい、3つの過ごし方

縁側でちょっとひと休み

母屋の縁側に座って、庭を眺めながら静かな時間を過ごす。ぜひ。

野草園と小道をのんびり散策

約10mのアプローチから広がる緑。季節ごとに咲く珍しい草花に出会えます。

木漏れ日のもとで森林浴や写真撮影

アスファルトのまちなかとは違う、澄んだ風を感じるリフレッシュ空間。



季節を楽しむ、屋敷林の歳時記

毎回趣向を凝らしたワークショップや野草園のガイドツアー、文化・芸術に触れる講座などを開催。開催日が近くなると市報や市SNSでお知らせしています。＊開催時期やテーマは毎年変わります。



市HP



春

桜を見ながら春の息吹を感じる春イベント

かれんな野草と新緑に包まれる春の屋敷林。花々を巡る野草園ツアーや自然素材の工作、昔遊びなど、ポカポカ陽気のなか親子で季節の芽吹きを楽しめます。



夏

新緑や涼を感じる夏イベント

街中より涼しい天然のエアコン空間！冷たい井戸水の足水コーナーや手作り竹水鉄砲など、木陰の澄んだ風を感じながら昔ながらの涼を満喫できる夏企画です。



秋

文化・芸術をテーマにした秋イベント

彼岸花や野草が咲く爽やかな秋の屋敷林。伝統の藍染め体験や民具展示など、心地よい秋風を感じながら地域の自然と文化の恵みに親しめるイベントが充実しています。



冬

紅葉や工作を楽しむ冬イベント

紅葉を楽しむ会 申込不要

時 12月6日(日) 午前10時～午後4時
※雨天は中止の場合あり

どこか懐かしい景観や遊びが楽しめる、秋の屋敷林に出かけませんか？
特設スペースでゴロンと寝転び見上げる紅葉は、1日だけの特別な時間です。

野草ガイドツアー ●午前10時30分から ●午前11時30分から

ワークショップ ●昔遊びコーナー

募集

ふるさと納税型クラウドファンディング

江戸から続く屋敷林の美しい景観と豊かな自然を次の世代に継承するため、クラウドファンディングを12月29日(火)まで受付中。 ※詳細は市HPへ